

世界史 国際機構・地域統合史 確認問題集

全19問 / 解答・解説は後半

名前 _____

記事「世界史 国際機構・地域統合史まとめ | 国際連盟から国連・EUまで」を読んだあとに解く問題集です。答えを書いてから後半の解答・解説で確かめ、間違えた問題は解説にある記事の節を読み直してください。

第1部 一問一答

問いに当てはまる語句を答えなさい。

1 1874年にスイスのベルンで設立され、1878年に名前を改めた、国際郵便のための機関は何か。

2 1899年の第1回ハーグ平和会議で結ばれた条約にもとづき、1901年にハーグに置かれた裁判所は何か。

3 ヴェルサイユ条約にもとづいて1919年に設けられた、労働条件の改善にあたる国際機関は何か。

4 国際連盟の発足時の常任理事国は、イギリス・フランス・イタリアともう1か国はどこか。

5 1935年にエチオピアに侵攻し、国際連盟から経済制裁を受け、1937年に連盟を脱退した国はどこか。

6 1945年2月に米英ソの首脳が、安全保障理事会での大国の拒否権などについて合意した会談は何か。

7 1956年のスエズ戦争（スエズ動乱）で派遣され、平和維持活動（PKO）の先例となった部隊は何か。

8 1948年12月の国連総会で採択された、すべての国と人々が達成すべき共通の基準を示した宣言は何か。

9 1949年1月にソ連が東ヨーロッパ諸国とつくった経済協力の組織は何か。

10 1967年に、インドネシア・マレーシア・フィリピン・シンガポール・タイの5か国が結成した地域協力の組織は何か。

第2部 正誤問題

次の文ア～エのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

11 国際連盟について。

- ア 国際連盟の規約は、ヴェルサイユ条約の第1編に組みこまれた。
- イ 国際連盟の本部は、スイスのジュネーヴに置かれた。
- ウ 国際連盟の総会・理事会の議決は、多数決が原則だった。
- エ ソ連は1939年に、フィンランドへの侵攻を理由に除名された。

12 国際連合の成立としくみについて。

- ア 大西洋憲章は、ローズヴェルトとチャーチルが発表した。
- イ 国際連合憲章は、ダンバートン＝オクス会議で採択された。
- ウ 国際連合は、原加盟国51か国で発足した。
- エ 安全保障理事会の常任理事国は拒否権をもつ。

13 冷戦期の国際機構について。

- ア 1950年、ソ連の代表が欠席するなかで、安全保障理事会が朝鮮戦争への対応を決議した。
- イ 北大西洋条約機構は、1949年に12か国で結成された。
- ウ ワルシャワ条約機構は、西ドイツのNATO加盟と同じ1955年に結成された。
- エ 東南アジア条約機構（SEATO）は、ソ連を中心とする東側の同盟である。

14 ヨーロッパ統合について。

- ア ECSCは、フランス外相シューマンの提案をもとに発足した。
- イ ヨーロッパ自由貿易連合（EFTA）は、EECに対抗してフランスが中心となってつくった。
- ウ 1973年、イギリス・アイルランド・デンマークがECに加盟した。
- エ EUは、マーストリヒト条約の発効によって発足した。

第3部 年代の並べ替え

次のア～エを、古いものから年代順に並べなさい。

15 国際連盟に関する出来事を年代順に並べなさい。

- ア ソ連が国際連盟に加盟した。
- イ ドイツが国際連盟に加盟した。
- ウ イタリアが国際連盟を脱退した。
- エ 日本が国際連盟を脱退した。

16 国際連合の成立に関する出来事を年代順に並べなさい。

- ア サンフランシスコ会議が開かれた。
- イ 大西洋憲章が発表された。
- ウ ヤルタ会談が開かれた。
- エ ダンバートン＝オックス会議が開かれた。

17 ヨーロッパ統合に関する出来事を年代順に並べなさい。

- ア ヨーロッパ共同体（EC）が生まれた。
- イ ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体（ECSC）が発足した。
- ウ ヨーロッパ連合（EU）が発足した。
- エ ヨーロッパ経済共同体（EEC）が発足した。

第4部 論述問題

次の問いに答えなさい。字数は目安です。

18 国際連盟が侵略を止められなかった理由と、国際連合でそれがどう改められたかを、150字程度で説明しなさい。

19 第二次世界大戦後の西ヨーロッパで、ECSCからEUに至るまでの統合の歩みを、150字程度で説明しなさい。

世界史 国際機構・地域統合史 確認問題集 解答・解説

第1部 一問一答

1 万国郵便連合

設立時の名前は一般郵便連合でした。1947年に国際連合の専門機関となり、政治色の薄い分野から国際機関が生まれた例として押さえます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／前史

2 常設仲裁裁判所

国際連盟の時代にハーグに置かれた常設国際司法裁判所（1921年）と名前が似ているので区別します。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／前史

3 国際労働機関（ILO）

国際連盟と関係の深い機関で、常設国際司法裁判所とあわせて覚えます。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国際連盟の成立としくみ

4 日本

のちにドイツ（1926年）とソ連（1934年）が加わりました。提唱国のアメリカは議会（上院）の反対で加盟しませんでした。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国際連盟の成立としくみ（表）

5 イタリア

制裁は徹底せず、侵略を止められませんでした。制裁が経済制裁中心だったことは連盟の弱点として論述でもよく使います。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国際連盟の限界

6 ヤルタ会談

前年のダンバートン＝オクス会議では、拒否権の扱いが決まっていなかった。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国際連合の成立

7 国連緊急軍

冷戦で安全保障理事会が強い措置をとりにくいなか、停戦の監視などにあたる方法として育ちました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国際連合のしくみと冷戦下の活動

8 世界人権宣言

法的な拘束力はありません。同じ1948年には世界保健機関（WHO）も発足しています。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国際連合のしくみと冷戦下の活動（表）

9 経済相互援助会議（コメコン）

西側の経済の動きに対抗したもので、ワルシャワ条約機構とともに1991年に解体しました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／冷戦期の軍事同盟と経済協力の組織

10 東南アジア諸国連合（ASEAN）

経済・社会・文化の協力から出発し、のちに政治や安全保障にも協力を広げました。1999年のカンボジア加盟で10か国になりました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／アジア・アフリカ・アメリカの地域協力

第2部 正誤問題

11 ウ

国際連盟の議決は全会一致が原則でした。多数決を原則としたのは国際連合です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国際連盟、比べて覚える

12 イ

ダンバートン＝オークス会議（1944年）でつくられたのは原案です。憲章は1945年6月のサンフランシスコ会議で採択されました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国際連合の成立

13 エ

SEATO（1954年）はアメリカが加わる西側の同盟です。冷戦期には、アジアや中東にも西側の同盟がつけられました。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／冷戦期の軍事同盟と経済協力の組織

14 イ

EFTA（1960年）は、EECに加わらなかったイギリスが中心となってつくりました。フランスはEECの原加盟国です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ヨーロッパ統合、入試で狙われるポイント

第3部 年代の並べ替え

15 イ→エ→ア→ウ

ドイツの加盟（1926年）→日本の脱退（1933年）→ソ連の加盟（1934年）→イタリアの脱退（1937年）の順です。1933年にはドイツも脱退しています。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国際連盟の限界（表）

16 イ→エ→ウ→ア

大西洋憲章（1941年8月）→ダンバートン＝オークス会議（1944年8～10月）→ヤルタ会談（1945年2月）→サンフランシスコ会議（1945年4～6月）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／国際連合の成立（表）

17 イ→エ→ア→ウ

ECSC（1952年）→EEC（1958年）→EC（1967年）→EU（1993年）の順です。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ヨーロッパ統合（表）

第4部 論述問題

- 18 解答例：**国際連盟は提唱国のアメリカが議会の反対で加わらず、ソ連も初めは参加しなかった。議決は全会一致が原則で、制裁も経済制裁が中心だったため、日本やイタリアの侵略を止められなかった。国際連合は多数決を原則とし、米英仏ソ中を安全保障理事会の常任理事国として迎え、軍事的な措置もとれるようにした。

採点のポイント：①大国の不参加（アメリカ・ソ連）、②全会一致の原則、③経済制裁中心で制裁が不十分、④国連の多数決、⑤大国が常任理事国として参加、⑥軍事的な措置が可能、が入っているか。拒否権にふれてもよい。

記事の該当箇所：比べて覚える、論述で使える要点

- 19 解答例：**フランス外相シューマンが独仏の石炭・鉄鋼の共同管理を提案し、両国の対立の解消をめざして1952年に6か国でECSCが発足した。1957年のローマ条約で翌年EECとEURATOMが生まれ、1967年に3共同体がECにまとまった。イギリスはEFTAで対抗したが1973年にECに加盟し、1993年にマーストリヒト条約の発効でEUが発足した。

採点のポイント：①シューマン・プランと独仏の対立の解消、②ECSC（1952年）、③ローマ条約とEEC・EURATOM、④EC（1967年）、⑤EFTAとイギリスのEC加盟（1973年）、⑥マーストリヒト条約とEU（1993年）が入っているか。

記事の該当箇所：時代ごとに詳しく見る／ヨーロッパ統合、論述で使える要点

記事：世界史 国際機構・地域統合史まとめ | 国際連盟から国連・EUまで <https://lawcityblog.com/sekaishi-theme-kokusai-kiko/>

問題・解説は文系ラボのオリジナルです。無断転載を禁じます。